

さようわ

協和小学校

学校通信

2011

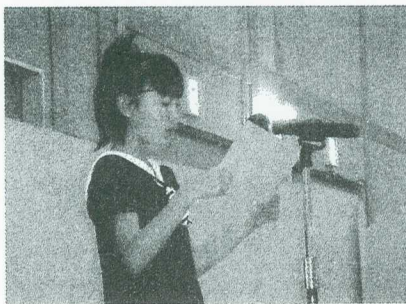
9/5

No. 25

平成23年度 協和小学校教育目標

自立への芽をはぐくむ

協和地域敬老会 …… まだまだ地域に貢献したい！



9月2日、協和地域の敬老会が「ユメリア」を会場に開催されました。

敬老者名簿によりますと、協和地域で、平成24年4月1日時点の76歳以上の方は、1,655名いらっしゃるということで（男性=592名、女性=1,063名）。また、協和地域の最高齢は、男性が99歳、女性が100歳とお聞きしました。敬老会には409名の方々が出席し、和やかな雰囲気の中で開会行事が進められました。その中で、本校児童代表の [] さん（5年生）が400名余りの方々に前に堂々とお祝いのことばを述べ、盛大な拍手をいただきました。最後に、新敬老者を代表して、船岡地区の鈴木清美さんが、「今回の大震災に、幼い頃体験した戦争を重ね合わせるがありました。幸いにも平穏な生活を送ることができることを喜び、思いやりと助け合いの輪を広げ、人に愛され地域に貢献できるように頑張りたい。」とお礼の言葉を述べました。

本校でも、お祖父ちゃん方とお祖母ちゃん方には大変ご協力をいただいているところです。 [] さんが述べたとおり、いつまでも若々しく、お元気でいていただきたいと思います。

以下は、 [] さんのあいさつ文です。

こんにちは。私は、協和小学校五年一組、 [] です。私が一年生だった頃は、協和地区に荒川、稲沢、峰吉川、船岡、淀川、小種と六つの小学校がありました。皆さんが小学生の頃は、もつともつと小学校があつたというお話を聞いたときがあります。きつとたくさんの子どもたちがいたのだろうなと思います。

私は今、お父さんとお母さん、弟、おばあさんと一緒に暮らしています。おばあさんは、畑の仕事をがんばっています。おばあさんと話していて気付くことは、おばあさんはいろいろなことを知っているのだなあということです。畑のことや生活のことでのおばあさんの知恵には、本当に驚かされていますし、優しく話しかけてくれるので、とても温かい存在です。

地域の方々も、すごく温かく私たちに接してくれています。学校に行くときや学校からの帰り道、「おはよう」「こんにちは」とよく声をかけてくれます。家まで一人で帰るときもあるのですが、皆さんからの声を聞くと、不思議と心細さがなくなり、安心して歩くことができます。学校にもたくさんの手伝いに来てくださっていますね。花壇のお世話をしてくださったり、あいさつ運動に参加してくださったり、運動会などに応援に来てくださったりと、さまざまなお世話になつていてることを感じています。

皆さんの声は、私たちを支えてくれてるんだなあと思うときがあります。皆さんから力をもらっているような感じがします。私たちも皆さんに少しでも元気をあげられたらいいなあと思います。これから、みんなの登校日や学習発表会があります。ぜひ、私たちの様子を見に協和小学校にいらしてください。私たちも、皆さんが来てくださるのを期待して、準備や練習をがんばっていきたく思っています。

皆さん、これからも私たちのことを見守ったり、たくさんのことを教えたりしてください。そして、これからもどうぞお元気でいてください。